人を笑顔にするシゴト

4 年制大学で介護福祉を学ぼう



介護福祉士養成大学連絡協議会

介護福祉士の仕事

介護福祉士の仕事は、身体上や精神上の障害がある人を生活の視点 から「生きる」を支える仕事です。

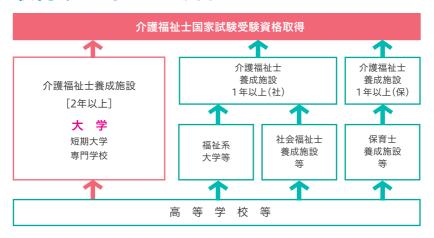
そのため介護は支援を必要とする人の健康問題や福祉といった幅 広い知識と技術を身につけて社会の変化に対応しながら、人々がより良く「生きる」道を作っていきます。

「人が好き」「人と触れ合うことが好き」 「人の力になりたい」と思っている皆さん がやりがいや喜びを感じることができる 仕事が介護です。

一緒に介護を学んでみませんか?



介護福祉士国家試験受験資格を 取得するまでの流れ



出典:「介護福祉士国家試験」公益財団法人社会福祉振興・試験センター一部引用・加筆

なぜ4年制大学で学ぶのか?

4年制大学で介護を学ぶということ

介護福祉士の国家試験受験資格を得るだけであれば2年制の専門学校でも可能です。 では4年制大学で介護の勉強をすることにはどのような意味があるのでしょうか。

利用者と介護者がともに学び、育つ・・・それが介護の仕事です

介護の仕事では利用者の方々の生活、人生に深くかかわることになります。誰かの人生に影響を及ぼすわけですから、介護者自身がしっかりとした価値観、人生観、知性、態度を身につける必要があります。4年間のしっかりとした学習で、人が生きることに対する深い洞察力、豊かな教養、福祉や医療にかかわる広い見識を身につけることができるのです。

4年間かけて学ぶから介護を深く学ぶことができます

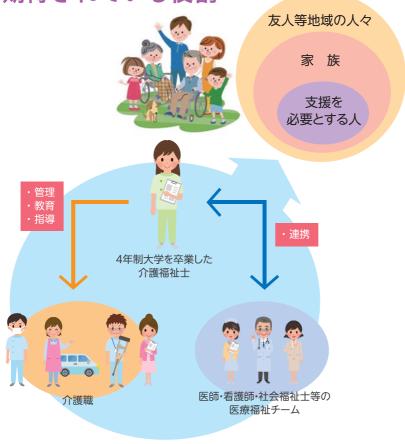
介護を学ぶということは単に介護の技術や方法を身につけるということではありません。利用者の方々の生活背景やニーズを広く深く理解することではじめて、それに見合った適切な介護サービスを提供することができます。また、広く社会資源を知り、様々な援助技術を提供できるようになるためにも4年間じっくり学ぶことが重要です。

社会福祉士受験資格の取得も可能です

4年制大学では介護の勉強と並行して社会福祉士取得のための勉強も並行して行っています。高齢者の介護のみでなく、障害者の生活支援や就労支援、子どもの貧困や虐待への対策など、今日、福祉の専門職としての介護福祉士や社会福祉士の活躍が求められる場面は広がる一方です。両方の福祉専門職の資格取得は、自分自身のキャリアを高めるだけでなく、福祉の利用者のニーズをより深く理解し、多様なアプローチを可能にします。

現場における大卒者の役割

4年制大学卒業生の介護福祉士が 期待されている役割



- ★ 支援を必要とする人へ良質な介護を提供する役割
- ★ 介護職のリーダーとしての役割(介護職の管理・教育・指導)
- ★ 支援を必要とする人、それを取り巻く家族、友人等地域の人々、 医師、看護師などの医療福祉従事者と共に、支援を必要とする人の 「生きる」を支える役割

大学で専門職の基礎を養う

超高齢社会に到達した現在、「介護」は年齢や男 女差に関わらず、人間存在の根底にかかわる不可 避なテーマとして私たちの前に横たわっています。 人は誰でも高齢になれば介護が必要になり、人の 世話になる必然性を持っています。

今や介護の仕事は、「介護福祉士」という国家資 格を持つ専門職によって支えられ、介護の質は日 に日に向上しています。若い介護福祉士たちが多 く勤務する私の施設では、入居している高齢者の ために昼夜を問わず、笑顔を絶やさず熱心に働き かけている尊い姿に胸が熱くなることが度々です。



特別養護老人ホーム パルシア 施設長

折腹 実己子

「介護」は非常にクリエイティブな仕事です。誰もが簡単にできる仕事で はありません。利用者が置かれている環境や変化を読み取り、深い思考力 と専門的知識で判断して即座に対応する力が必要です。コミュニケー ション力や創造性や即興性も含めた人間力が問われます。さらに、他の専 門職と信頼関係を構築し、連携して利用者の生活を支えることが求められ ます。

このことから、4年制大学で介護福祉士を養成する意義は高く、様々な 経験や体験を積んで人としての幅を広げ厚みを増し、4年間で専門職とし ての基礎づくりをすることができます。これからの「介護」を担う豊かな人 間性を持つ介護福祉士を、そして、介護職のリーダーになりうる資質を持 つ介護福祉士の養成を社会全体が待ち望んでいます。介護現場からも、心 から期待しています。

活躍する卒業生より

「北海道 医療大学

多職種連携の重要さを学んだ4年間

私は現在、特別養護老人ホームの介護福祉士として働いています。大学では、看護と福祉の合同授業があり、生老病死について二つの視点から議論し、考えの幅を広げる機会となりました。また医療系総合大学であるため、口腔ケアは歯学部の先生から、リハビリの方法はリハビリテーション学部の先生から学ぶことができ、各専門家からの学びはより実践に近いものでした。介護、福祉、看護、薬学、歯学、リハビリと幅広い分野の学びは、現場に出て改めてその重要性を感じます。病気やリハビリに対しどのようなケアが必要か、美味しく食事をするためには口腔ケアはどうしたら良いか。介護と各分野の観点からアセスメントすることにより、利用者の生活が豊かになっていきます。

私は社会福祉士の資格も取得しました。社会福祉士として、社会との関係性も学び、利用者の考え方や想い、性格、生活習慣などを今の状態からだけではなく、過去をも考えたケアをアセスメントすることに取り組めています。

介護福祉士は利用者の生活を豊かにする力を持っていますが、それには多くの知識や考え方が必要です。4年制大学で介護福祉士を学ぶということは、その必要なものを幅広く吸収できることが魅力だと思います。



特別養護老人ホーム勤務 北海道医療大学卒

頑張っている 介護福祉士の たまご

福祉・医療の幅広い実習から学んだこと

・・、 私は介護福祉士を目指し、介護と福祉の両方が学べる北海道医療大学を選びました。医療系総合大学のため、他学部の先生の講義があり、多職種連携を学ぶことができ、部活動など他学部生との交流によって、職種による視点の違いを知ることにも繋がりました。

介護福祉士と社会福祉士の視点を学ぶことで、4年次の介護実習では、多面的に利用者にとってどのような支援が良いのか考えることができました。出来ないことを手伝うというイメージが強い介護ですが、利用者に学ぶことが多く、介護福祉士の役割は自立した生活を支えていくことと気付くことが出来ました。また、他職種の役割や他職種と連携し支援していくことの実際を学び、大学での講義が活かされました。何より利用者との関わりは楽しく、介護の魅力です。

今年から医療的ケアの講義だけではなく、実地研修も行うことができ、即戦力になる資格も得られます。将来は、利用者の笑顔を少しでも多く引き出し、頼られる介護福祉士になりたいです。



北海道医療大学4年生

介護の仕事でワークライフバランスが充実!!

介護福祉士を目指して大学で学ぶメリットは、介護分野にとどまらず、多角的に福祉分野を学べる事にあると、私は考えます。大学での学びから、介護福祉士として働きながらも、広い視点でご利用者のケアにあたる事ができると感じます。さらに、介護の仕事はご利用者やご家族、職員間など様々な場面でコミュニケーション力が大切になってきます。大学ではゼミなどを通し教師や学生同士の交流も多く、たくさんの人とのコミュニケーションが行われる為、その力を自然と身に付ける事ができました。

実際に働く中で介護の仕事の魅力は、自分自身が常に成長できる事にあると考えます。人生の大先輩であるご利用者から学びを得る事ができ、さらに自分一人の力ではなく、チームで協力しながら仕事をしていく事にやりがいを感じ、楽しみながら働く事ができています。現在、育児休業中の私が2人の子供を育てながら働く事ができているのも、そんな魅力溢れる仕事であり、ワークライフバランスが整っているからこそであると考えます。

今後もご利用者・ご家族の笑顔に向かって、チーム一丸となり、福祉業界を 発展できるよう日々努めていく事が使命だと感じています。



特別養護老人ホーム勤務 北翔大学卒

頑張っている 介護福祉士の たまご

介護の学習と部活動を両立しています!!

・・、 私が北翔大学を選んだ第一の理由は、小学生の頃から頑張っている体操競技を続けたかったからでした。そして、何となく介護に興味があったことが、学科を決めた理由です。しかし、今ではこの大学・学科を選んで本当に良かったと思っています。講義を通して介護に対する考え方や技術などを基礎から学び、実習では大学での学びを現場で実践することができました。漠然としていた介護への興味が、いつしか「介護福祉士になる!」という明確な目標になっていました。

大学では介護福祉士だけではなく社会福祉士やレクリエーションインストラクターなどといったほかの資格の取得も同時に目指すことができ、より広い視野をもった介護福祉士を目指せるのではないかと思います。

2年連続でインカレにも出場することができ、勉強と部活動の両立を強く実感できました。これからも大学生という貴重な時間を無駄にすることの無いよう、胸を張って介護福祉士になれるよう、精いっぱい頑張りたいです。



北翔大学2年生

活躍する卒業生より

東北福祉 大学

多面的な視点を養うことができる大学教育

私は現在、特別養護老人ホームで介護福祉士として働いています。私が思う、4年制大学で介護福祉士を取得する魅力は、様々な福祉分野と同時に介護福祉を学ぶことができる点です。介護を単体として見るのではなく、様々な分野の視点で見てみると、また少し違った気づきがあります。特に今、介護サービスは介護現場に限らず、社会のニーズに対応しようと多種多様に存在しています。カタチは一つではありません。視野を広げることは、自分自身の糧になります。いろんな要素を取り入れて、ニーズの変化に対応しながら、既存のものをどのように変えていくか、また、新しいものを生み出していくか。考えるだけでとてもわくわくしてきます。それが介護の醍醐味でもあると思います。



特別養護老人ホーム勤務 東北福祉大学卒

私は福祉の世界を楽しくしていきたいという思いがあります。この気持ちが生まれたのも、4年間じっくりと東北福祉大学で勉強や課外活動を取り組み、多面的に見る視点を養うことが出来たからだと感じています。

頑張っている 介護福祉士の たまご

充実した環境での学び

*・・・、 私が、4年制大学であるこの東北福祉大学を選んだのには理由がありました。「介護」について学ぶ環境が整っているという点でした。

この大学には、介護福祉士課程という介護について学ぼうとするためのカリキュラムも組まれており、またそれと同時に、その他の資格にも挑戦することができるので、介護だけでなく、その他に興味・関心のあることについて学ぶことができます。

4年間という長いようで短い時間のなかで、同じ志をもつ仲間たちや頼りになる先生方に支えられながら、実習などを通して様々な経験をすることができます。入学前に抱いていた「介護」に対する抽象的なイメージも少しずつ明らかになってきたように思います。今までに経験した、2週間、1ヵ月の施設での実習、3日間の居宅介護実習を終え、障がい者、高齢者分野を自分の目を通して体験することができました。この充実した環境のもと、自己のスキルアップを目指して1日1日を大事に生活していこうと思います。



東北福祉大学4年在学

介護福祉士養成教育に携わっている現在

介護福祉士資格を取った仙台大学を卒業後、資格を活かし老人病院で患 者に対し日常生活や余暇活動を支援してきました。それから、看護師の免許を 取得し、救急看護に取り組んだ後に、機会に恵まれ、母校で介護福祉士養成教 育に携わっています。

仙台大学は、東北で唯一の体育系大学で、スポーツやボディメカニクスなど 身体に着目した講義が特徴です。また、健康福祉学科では介護福祉士受験資 格が取得できる以外に社会福祉士受験資格、健康運動指導士、福祉レクリ エーションワーカー等、様々な資格を得ることができます。それらの資格を活 かして介護現場や地域で活躍できる介護福祉士としての活動ができます。そ れ以外にも、保健体育科教諭や養護教諭、福祉科教諭の免許も併せて取得す ることができ、介護の視点を活かした教育も実現可能です。活躍の場は、介 護・福祉・医療だけでなく教育にもあり、なりたい理想像に向かって進むこと のできる魅力ある大学です。



介護福祉士養成学校勤務 仙台大学卒

皆さんも是非、仙台大学健康福祉学科に入学し、将来の可能性を最大限に 広げてみませんか。

頑張っている 介護福祉士の たまご

新たな気付きと学びを求めて

私が仙台大学への進学を決めた理由は、体育系の大学で様々な知識 と実践的な技術を身に付けた介護福祉士になるためです。仙台大学は、介護 福祉士を目指す私にとって最適な環境でした。多くの資格を取得できる場で もあり、福祉レクリエーション・ワーカーの資格取得にも力を入れました。頼り になる先生方や一緒に介護福祉士を目指す仲間たちと共に、楽しい大学生活 を過ごしています。

ハイライトとなる介護実習では、専門的な知識・技術を学びコミュニケー ション能力を向上させる事で、的確なアセスメントから利用者の個別性を重 視した援助方法の在り方を探求する事もできました。このような経験を活か し、私は介護福祉士として成長できるよう頑張ります。

最後に私の思う介護とは、「対象の生活に寄り添うための、思いやりのここ ろ | を持つ事だと思っています。少しでも介護に興味がある人は、ぜひ仙台大 学に足を運んでみて下さい。新しい「何か」が、あなたを待っています。



仙台大学4年在学

活躍する卒業生より

仙台白百合 女子大学

学生時代の出会いを大事に、管理者として初心を忘れず

私は仙台白百合女子大学を卒業し、介護福祉士を取得しました。卒業後は 通所リハビリテーション、特別養護老人ホームを経て、現在はサービス付き高 齢者向け住宅の訪問介護事業部門の所長をしております。利用者様の病気や 生活スタイルにより、一人ひとり関わり方が異なるため、利用者様の事を理解 し、寄り添いながら支援していく難しさを日々感じております。しかし、だから こそそこにやり甲斐がある仕事なんだと思っています。利用者様の笑顔を見 られた時や感謝の言葉を頂いた時の喜びは、また頑張ろう、頑張れると自分自 身の最高の励みになっていると実感しています。

大学時代、私は講義や実習を通して、たくさんの事を学び、そしてたくさんの出会いがありました。その経験が今の仕事に繋がっていると思っています。 そして今の私の新たな課題は、所長としての事業運営です。利用者様との出会い、スタッフとの出会いを大事に、これからも初心を忘れず、仕事に取り組んで行きたいと思います。



特別養護老人ホーム勤務 仙台白百合女子大学卒

頑張っている 介護福祉士の たまご

女性として働き続ける

・・、 社会福祉は障害者、児童、高齢者など多くの分野があります。4年制大学では、複数の福祉専門職資格を組み合わせて取得することが可能で、私は介護福祉士を基軸に、社会福祉士の取得にも目を向けて勉強しています。

社会福祉士と介護福祉士は、福祉専門職として生活にさしさわりのある人を支援する共通点はありますが、注目する視点や支援方法に違いがあります。 私は2つの福祉専門職の勉強をすることで、視野を広げて介護を捉えることが出来ました。将来はこの強みを活かしながら、専門職チームの一員としてこれからの介護福祉士に求められることは何かを日々考え実践していきます。

また実習を通して、介護の仕事は女性にとって働きやすい業界であると感じました。女性職員が多く、出産や育児などで現場を一度離れた方でも復帰しやすい職場環境が整えられているように思いました。

大学で女性の社会参画の意義を学んだ私は、生涯を通して介護実践の場で働いていきたいと考えます。



仙台白百合女子大学 4年在学

自分の生まれ育った町で、ご利用者様と家族のような関係を築く

私は、小規模多機能型居宅介護支援施設で働いています。長い名前です が、小規模多機能型居宅介護とは、平成18年4月の介護保険制度改正によ り創設された、地域密着型サービスのひとつです。介護が必要となった高齢者 (主に認知症高齢者)が、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持でき るよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態が一体となり、 24時間切れ間なくサービスを提供できるという特徴を持つ施設です。

私は、大学のゼミで、認知症グループホームについて研究しました。認知症 の方々が安心して暮らしていくために何が必要なのかということについて、現 場に足を運んで、見学による観察を行いました。また実践を通しての考察を聞 き取りなど調査しました。そうした学生時代の経験が、今の仕事に生かされて います。自分の生まれ育った町で、ご利用者様と家族のような関係を築きなが ら、楽しくお仕事できることを幸せに思っております。

この仕事を誇りに思い、結婚して子育てをしながらも一生続けていくつもり



東北文化学園大学卒

頑張っている 介護福祉士の たまご

です。

他学部・学科の学生とともに学ぶ充実した日々

私が福祉に興味を持ったのは、高校の職場体験で、ディサービスに 行ったことがきっかけでした。その時の高齢者のかたとの会話が楽しかった ことや人に何かしてあげることで感謝されることの喜びを感じ、高齢者の方 に直接関わりながら支援できる介護福祉士と社会福祉士を目指そうと思い ました。

入学後は、他学科の方々と共に学び・交流も深めていきたいと考えていま した。東北文化学園大学に看護学科やリハビリテーション学科の方々と共に 学ぶことができる専門職連携セミナーのあることを知り入学することにしま した。

今、大学で専門的な知識や技術を仲間たちと学び、福祉に対する考えの幅 が広がっていくことを実感しています。また、大学祭やパロリンピック・ボラン ティアの参加を通し他学部の方々との交流も深まり、地域の方々から暖かい 言葉をたくさんいただき、人とかかわることの楽しさも得ることができ、充実 した毎日を過ごしています。今後も福祉に必要なこと・大切なことをたくさん 身に付けて、人の役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。



東北文化学園大学1年在学





北海道 東北 ブロック

州北翔大学

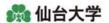














🕡 東北文化学園大学



北 海 道 東 北 0介 護 福 祉 が 学 ~" る 大 学

